



3次元点群データを活用した**未来のまちづくり**
～ **VIRTUAL SHIZUOKA**構想～

課題解決の処方箋

この美しい県土すべてを保存できないか？

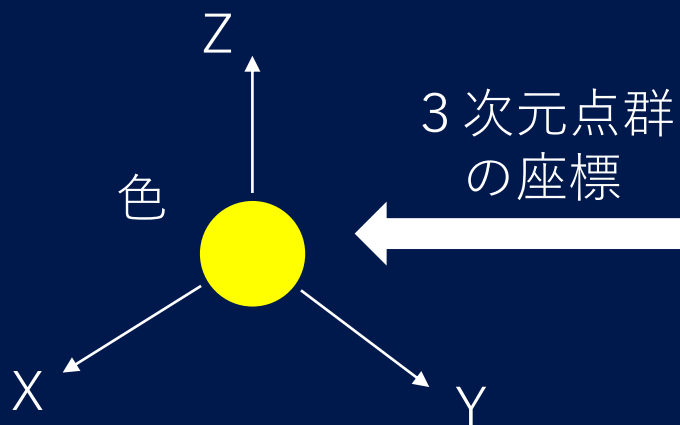


県土すべてを【アーカイブ】化する

図書館が書物を保存するように



県土全体をスキャンして保存（座標データ）



3次元点群データ計測方法

地表面に向けてレーザ光を照射



表面データ

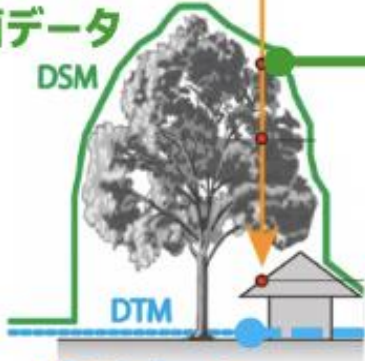


樹木や建物で跳ね返るデータを取得

地形データ



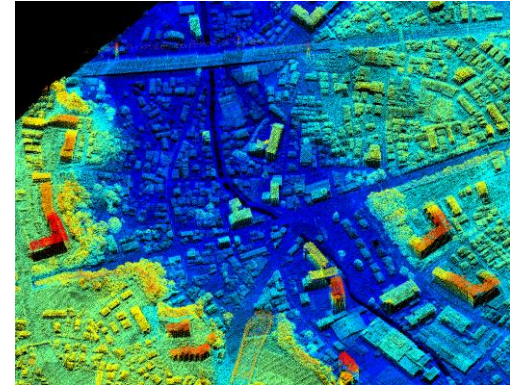
表面データ
DSM



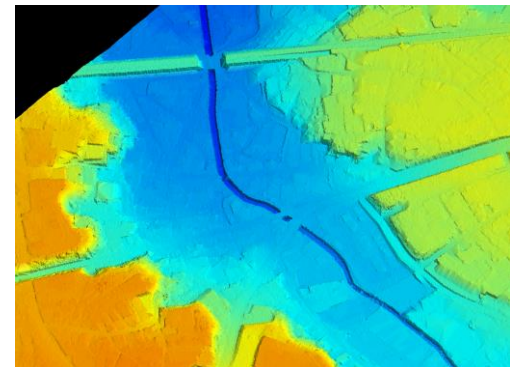
地形データ

地上まで到達したデータを取得

オリジナルデータ



グラウンドデータ

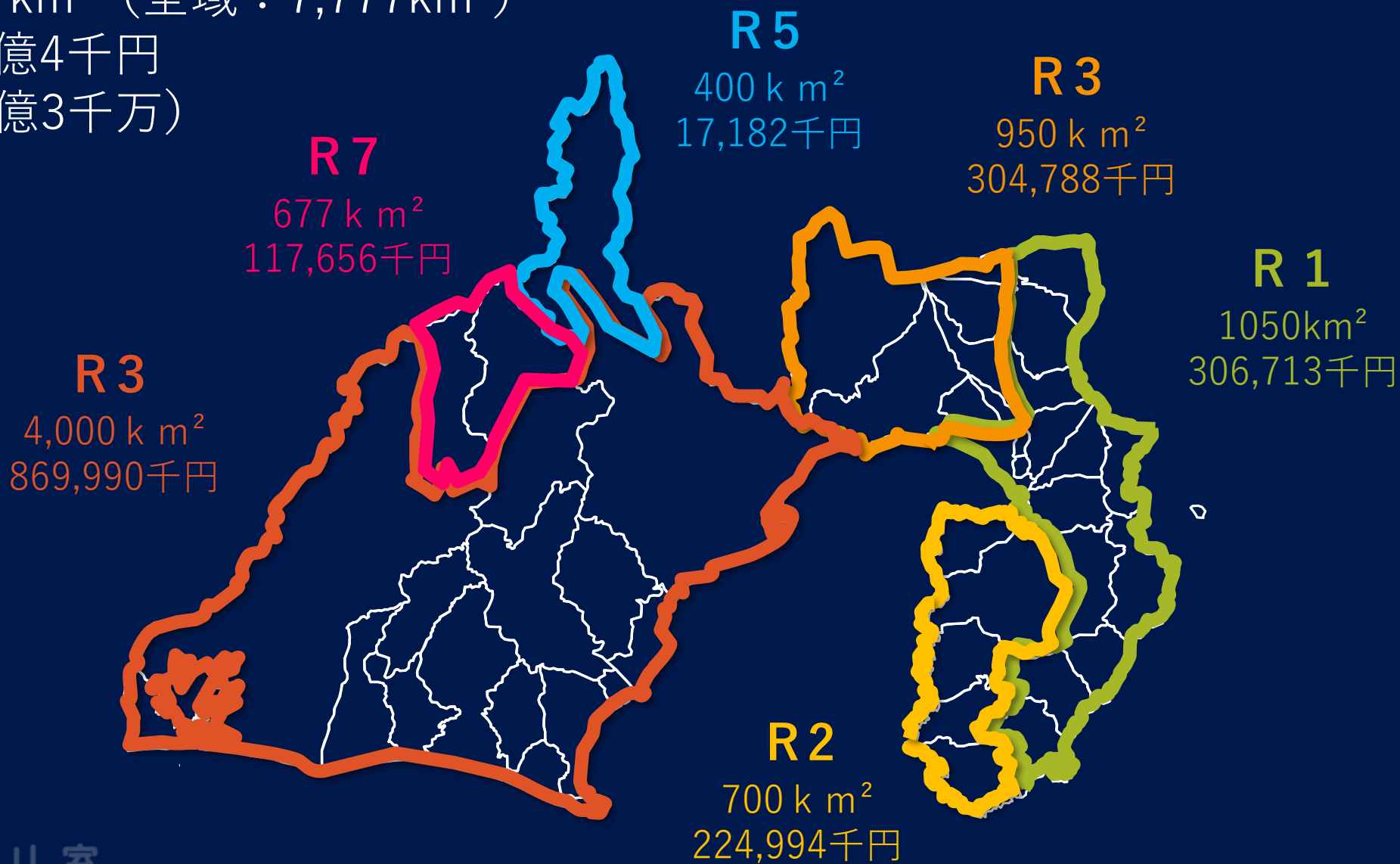


静岡県 の 3次元点群データ取得状況

総面積：7,777km²（全域：7,777km²）

総事業費：18億4千万円

（国費：4億3千万円）



オープンデータとして公開

G空間情報センター データセット / 編集 / カテゴリ / アプリ

香 / 沼津 / 静岡県 / 静岡県 富士山南東部・伊豆全域 点群データ / LPデータ ダウンロードページ

LPデータ ダウンロードページ

URL: [https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/AL20_21/\(x\)/\(y\).shf](https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/AL20_21/(x)/(y).shf)

※最新バージョン (LP) で取得した3次元点群データのダウンロードページです。

※ - 2019年度計画
※ - 2020年度計画

ダウンロード方法の通りです。

1. ダウンロードしたいメッシュをクリックあるいは領域を選択して選択します。
2. ダウンロードボタンをクリックすると選択したメッシュのデータがダウンロードが可能になります。
3. リスト出力をクリックすると選択したメッシュのデータのみを出力することも可能です。

注意

- ・ ファイルのサイズが最大100MBになります。
- ・ 接続状況によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。

ダウンロードプレビュー



G空間情報センター データセット / 編集 / カテゴリ / アプリ

香 / 沼津 / 静岡県 / 静岡県 富士山南東部・伊豆全域 点群データ / ALBデータ ダウンロードページ

ALBデータ ダウンロードページ

URL: [https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/AL20_21/\(x\)/\(y\).shf](https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/AL20_21/(x)/(y).shf)

※最新バージョン (ALB) で取得した3次元点群データのダウンロードページです。

※ - 2019年度計画
※ - 2020年度計画

ダウンロード方法の通りです。

1. ダウンロードしたいメッシュをクリックあるいは領域を選択して選択します。
2. ダウンロードボタンをクリックすると選択したメッシュのデータがダウンロードが可能になります。
3. リスト出力をクリックすると選択したメッシュのデータのみを出力することも可能です。

注意

- ・ ファイルのサイズが最大100MBになります。
- ・ 接続状況によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。

ダウンロードプレビュー



G空間情報センター データセット / 編集 / カテゴリ / アプリ

香 / 沼津 / 静岡県 / 静岡県 富士山南東部・伊豆全域 点群データ / MMSデータ ダウンロードページ

MMSデータ ダウンロードページ

URL: [https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/MMS20_21/\(x\)/\(y\).shf](https://gpc-shizuoka-s3-ap-northwest-1.amazonaws.com/2021/Vectors/MMS20_21/(x)/(y).shf)

※最新バージョン (MMS) で取得した3次元点群データのダウンロードページです。

※ - 2019年度計画
※ - 2020年度計画

ダウンロード方法の通りです。

1. ダウンロードしたいメッシュをクリックあるいは領域を選択して選択します。
2. ダウンロードボタンをクリックすると選択したメッシュのデータがダウンロードが可能になります。
3. リスト出力をクリックすると選択したメッシュのデータのみを出力することも可能です。

注意

- ・ ファイルのサイズが最大100MBになります。
- ・ 接続状況によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。

ダウンロードプレビュー



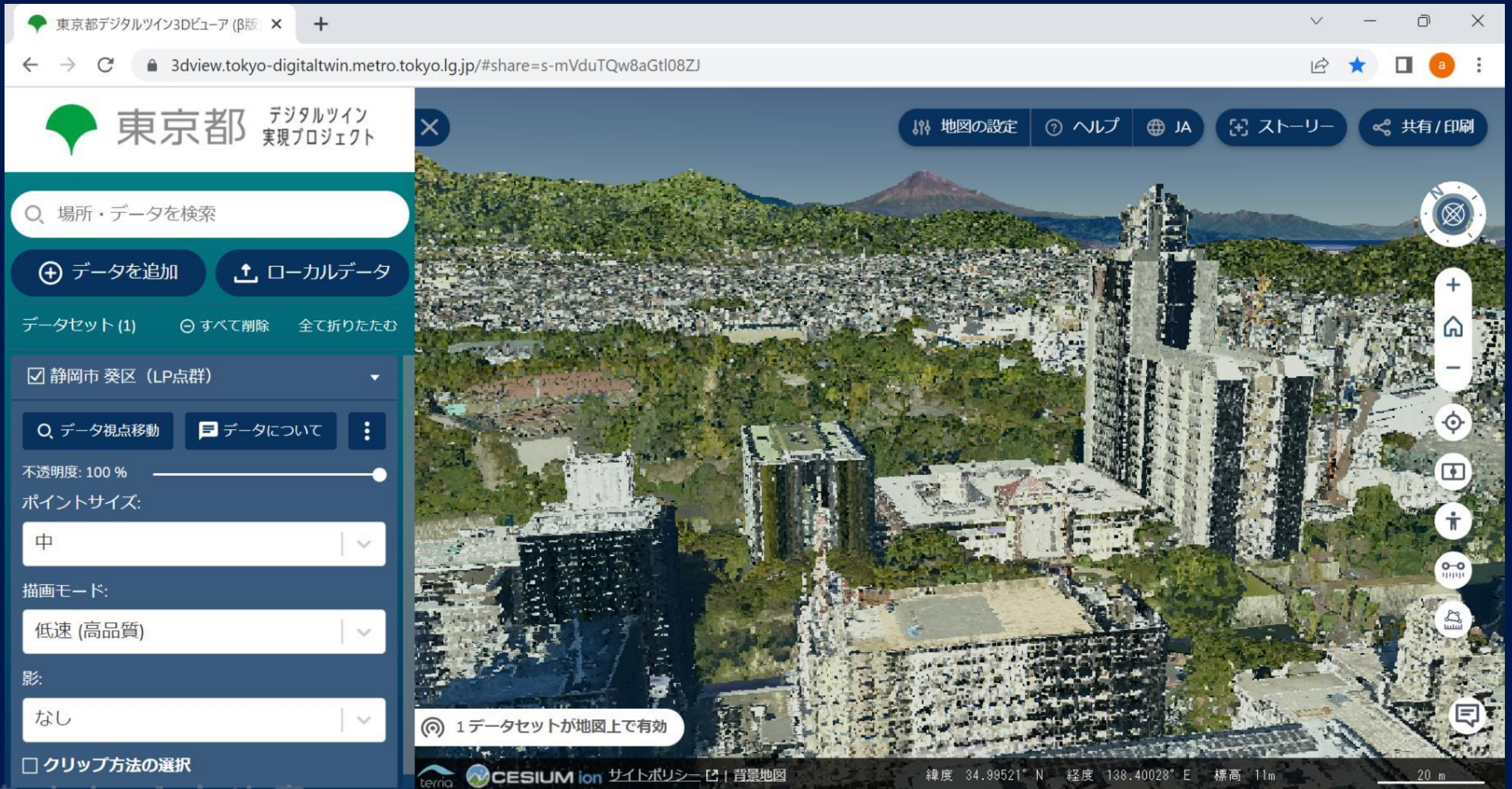
この図は、地図上にグリッドが重ねられ、特定の領域が青い枠で囲われている様子を示しています。これは、データ取得のための選択範囲を指定している状態です。

「選択範囲の指定」をクリックして領域を選択し、「ダウンロード」をクリックするとデータが取得できます

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/shizuoka-19-20-pointcloud>



VIRTUAL SHIZUOKAプラットフォーム



災害状況の量的把握



事前データとの比較による被害把握

インフラの全プロセスにおける3次元データの活用

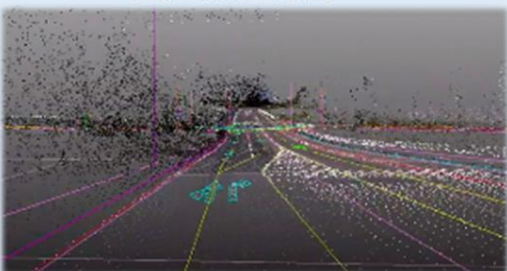


測量・設計

ICT工事

維持管理の効率化

自動運転



点群データで創るデジタルツイン

観光



文化財保護

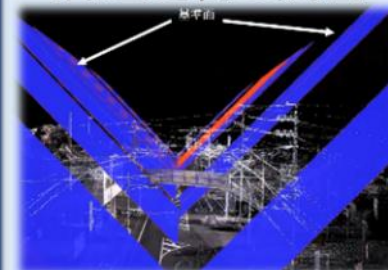


景観検討



合意形成・意思決定の支援

沿道建物の調査



森林管理



シミュレーションでの活用

交通基盤部関連（一例）

区分	内容	
交通基盤部	災害 防災	① 災害発生前後における変化量の分析
		② 災害時測量と査定設計図面の作成
		③ 津波や河川氾濫シミュレーションの3D
	交通	④ 自動運転の走行地図データ活用
	測量	⑤ 県発注業務におけるコスト削減
		⑥ ICT土工における活用
		⑦ 概略設計・イメージパース
		⑧ 航測法による地籍調査
	設計	⑨ CIM作成（3D設計図）
		⑩ 完成イメージによる合意形成
		⑪ 景観シミュレーション
	維持 管理	⑫ インフラの維持管理、台帳連携
		⑬ 地下埋設管の3D管理
		⑭ 道路土工構造物の維持・管理
	広報	⑮ インフラの視覚的効果・演出効果
		⑯ デジタルツインの可視化プラットフォーム

その他関連（一例）

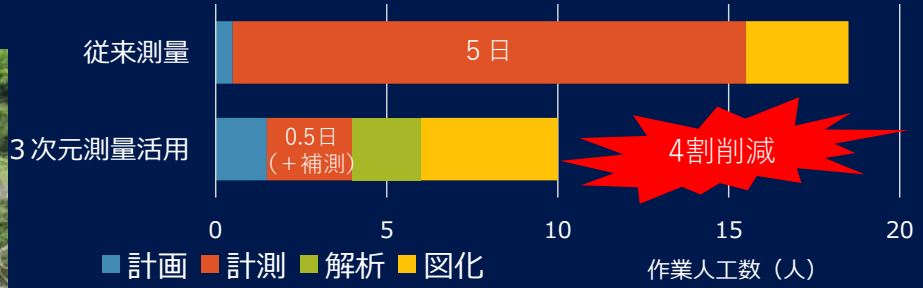
区分	内容	
その他	解析 調査	⑰ 開発盛土等にかかる土量計算等の効率化
		⑱ 雨水流出解析シミュレーション
		⑲ 森林保有確認（J-Cregit）
		⑳ 太陽光発電ポテンシャル推計
	学術 文化	㉑ 古墳等の遺跡等における学術活用
		㉒ 文化財のデジタルアーカイブス
	林業	㉓ 林業機械シミュレータ
	ゲーム 観光等	㉔ 観光地VR体験（富士山登山等）
		㉕ メタバース空間利用
		㉖ ゲームフィールド活用
㉗ マインクラフトでの活用		
㉘ アプリ「釣りドコ」での海岸線地図		

交通基盤部への活用

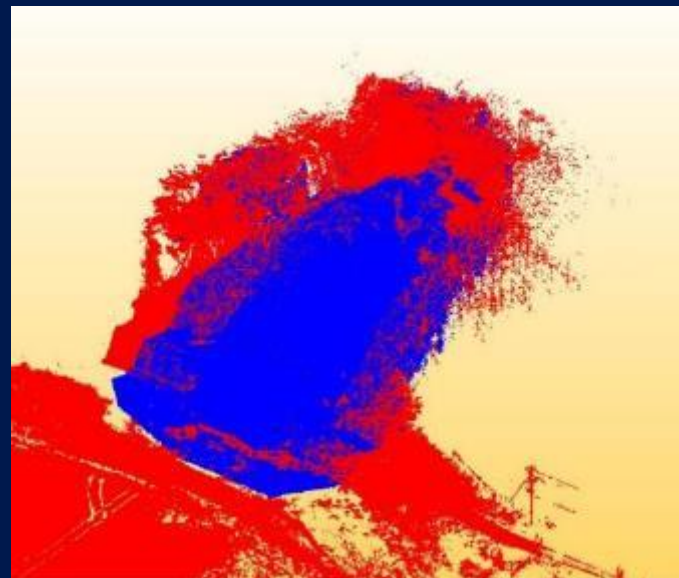
3次元点群データの蓄積による災害復旧の迅速化



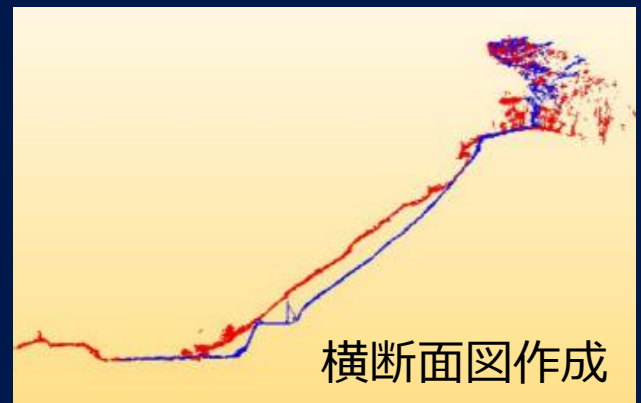
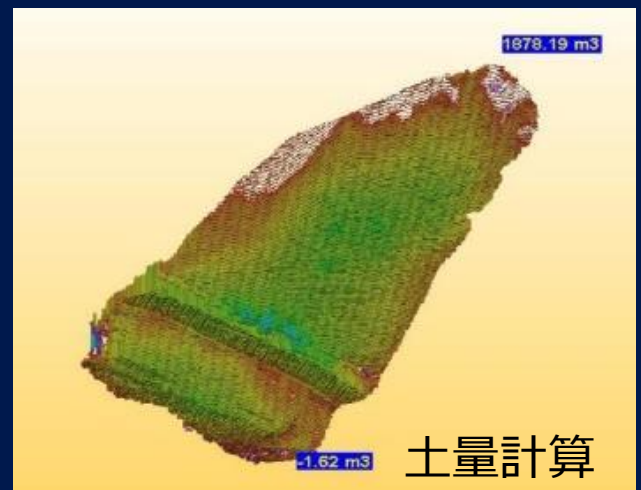
従来の測量



被災後に3次元点群データ計測

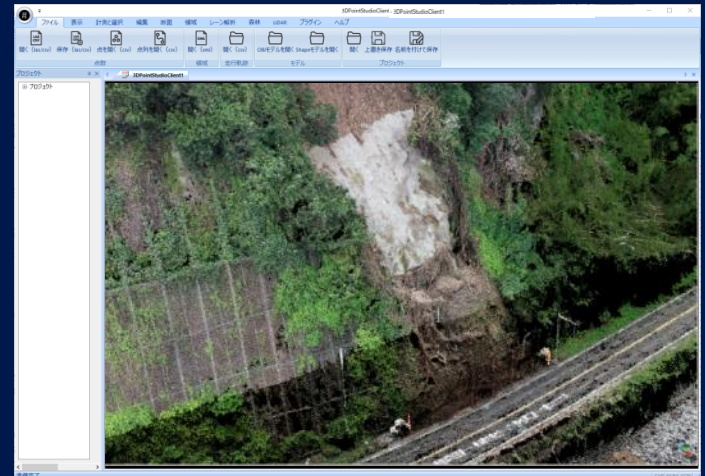


被災前データとの重層

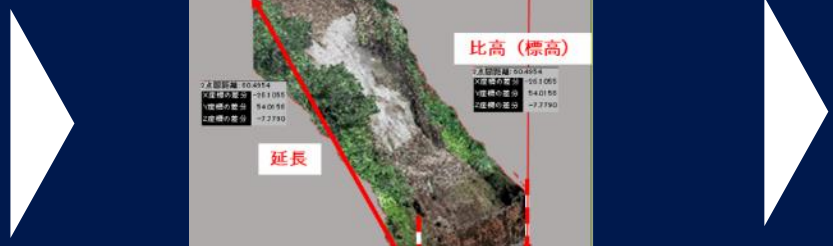


3次元点群データによる机上査定の効率化・高度化

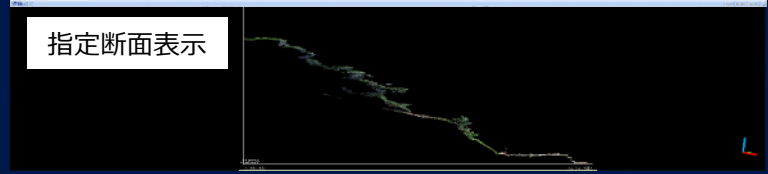
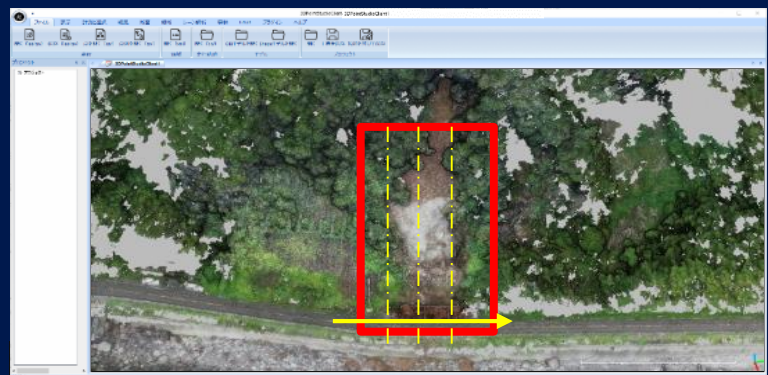
『点群データを用いた公共構造物の維持管理推進委員会』にて試行
(※令和2・3年度の国土交通省建設技術研究助成制度「3次元点群データを用いた公共構造物デジタルツインの成長型AI基盤モデルの開発」の活動で設置し、現在も精力的に活動している産官学構成の委員会)



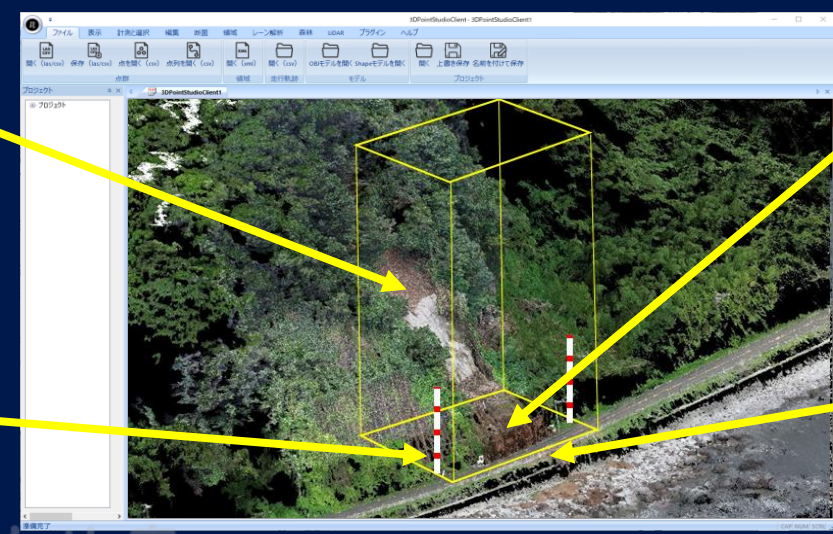
被災後に3次元点群データ計測



被災範囲抽出と形状寸法計測



任意断面表示とファイル出力



被災状況写真を付与



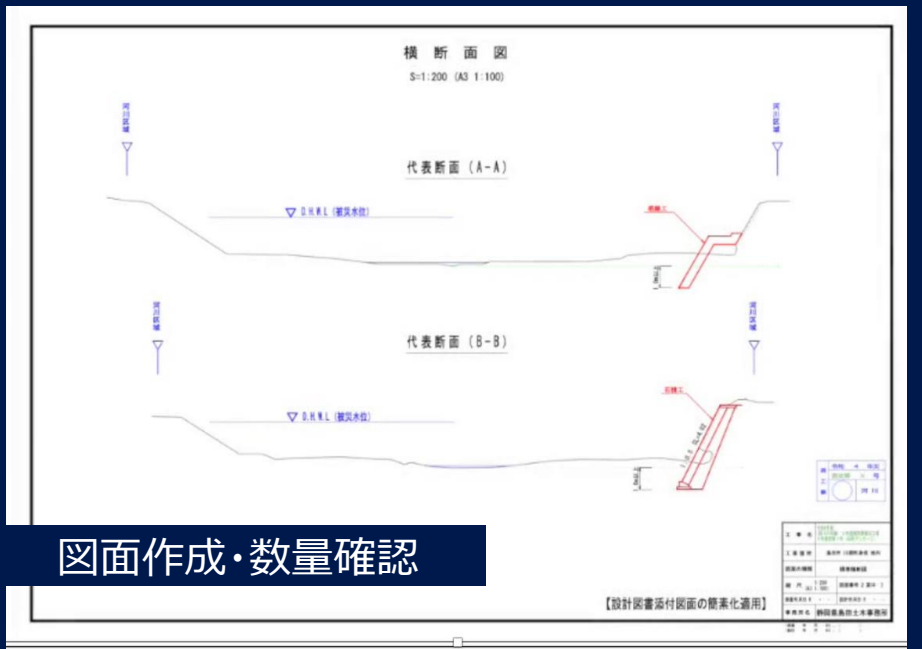
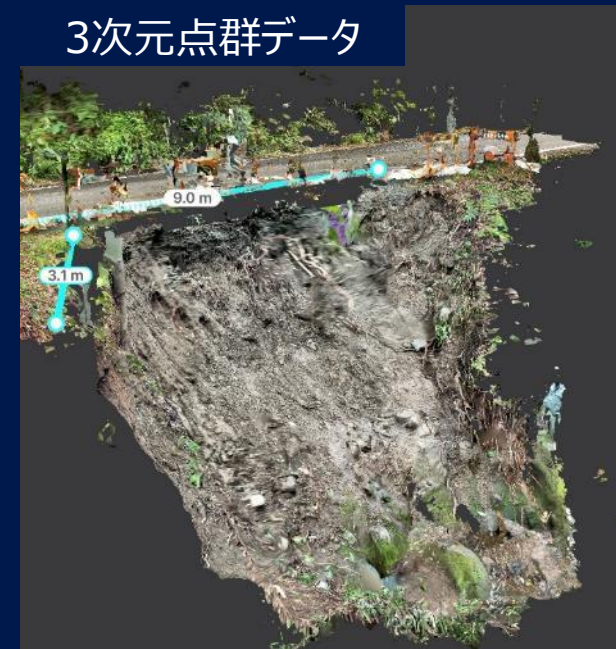
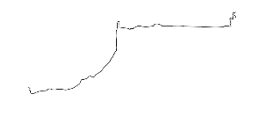
復旧計画との融合

※ 点群ブラウザ『3D Point Studio®』にて操作

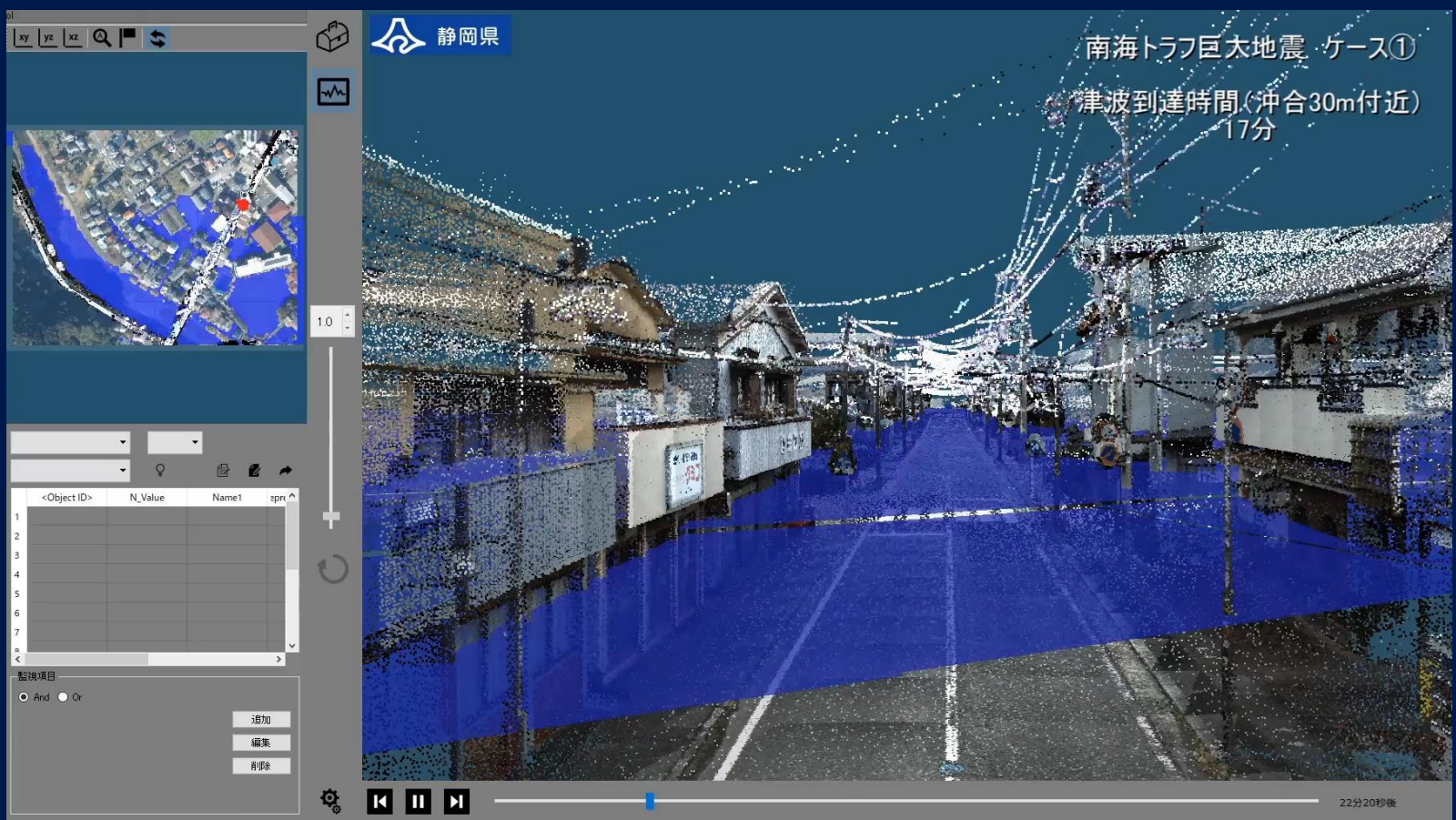


【職員直営】
データ取得
↓
図面作成
↓
災害査定
(数量確認や
設計に活用)

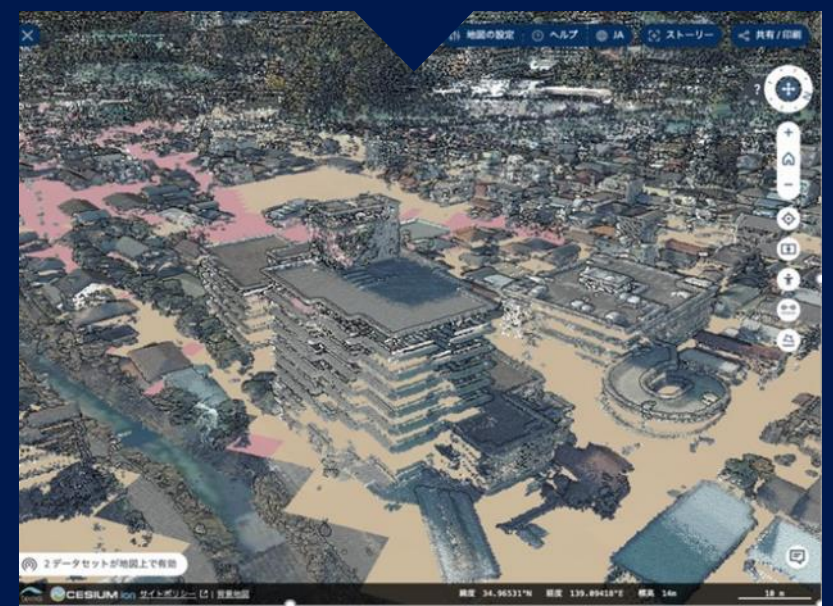
横断面図等



津波浸水シミュレーション (静岡県河津町)

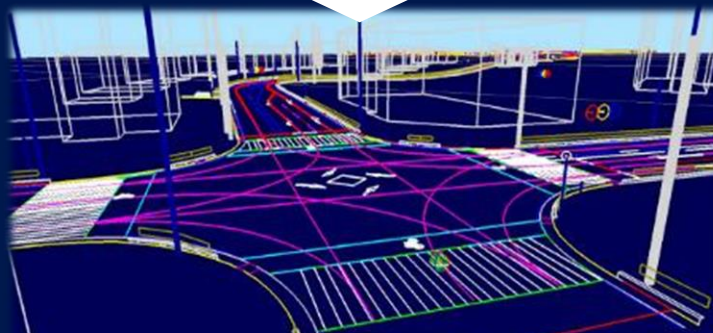
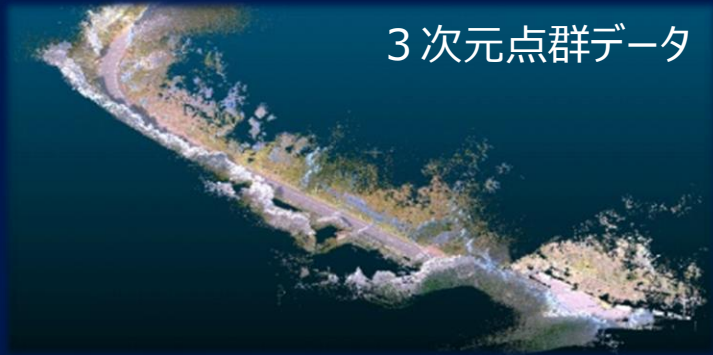


時系列での津波シミュレーションを再現



河川の浸水シミュレーションを3次元で再現。

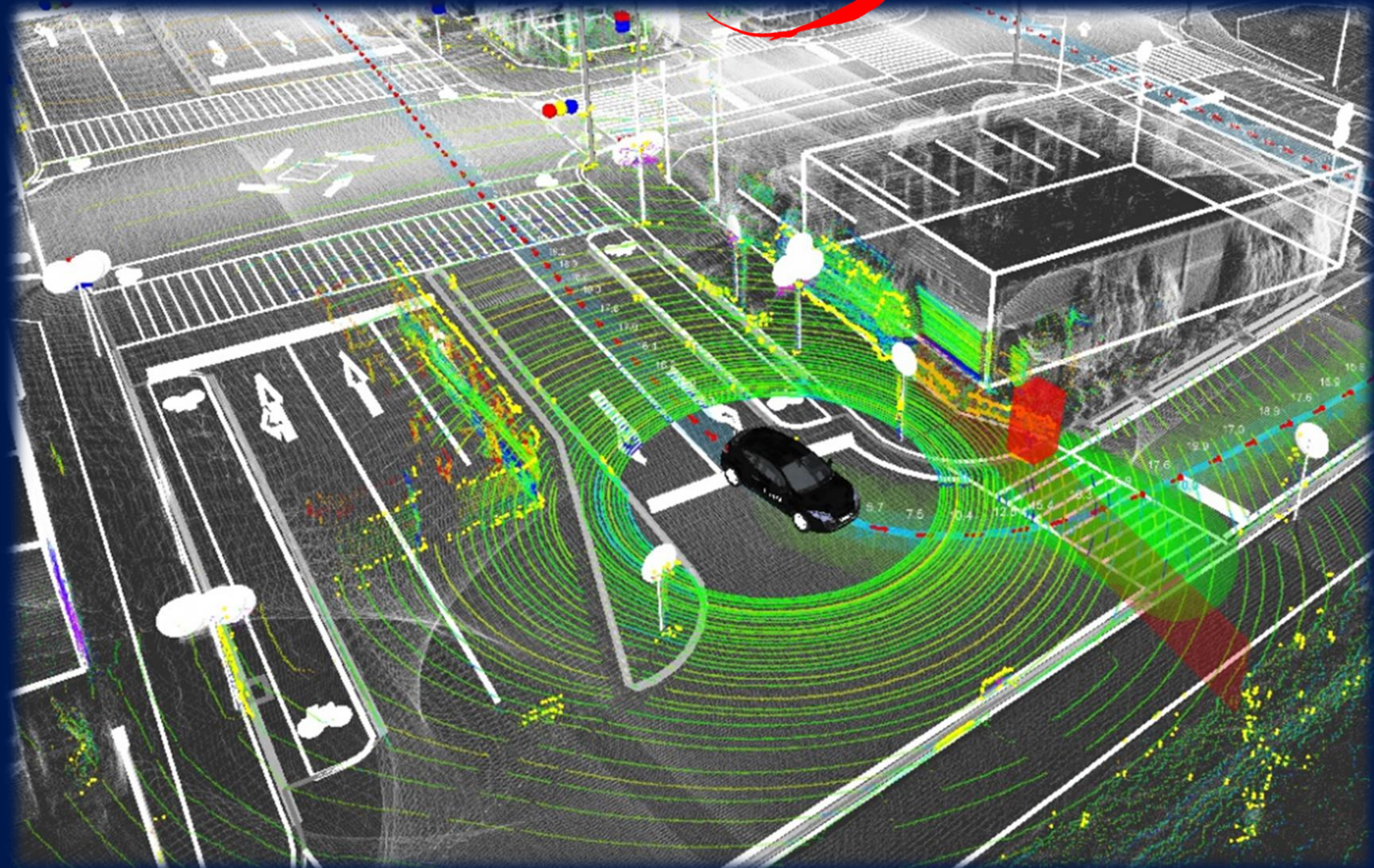
3次元点群データ



自動運転の走行地図



しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト



出典 : http://www.zmp.co.jp/news/pressrelease_160805

実証実験 (自動走行の有用性・社会受容性確認)

3次元計測データ（公開済み、または、業務内で計測）を活用して、測量業務を実施する取組



● 公開済みの3次元計測データ（VIRTUAL SHIZUOKAデータ等）



G空間情報センター
<https://www.geospatial.jp/>



オンライン型電子納品システム
<https://mycityconstruction.jp/>

路線測量の積算【地域による変化率を低減】

標準歩掛

地域地形	平地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+1.0			
市街地甲	+0.4			
市街地乙	+0.3	+0.5		
都市近郊	+0.2	+0.3		
耕地	0.0	+0.1	+0.2	
原野	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5
森林	+0.3	+0.4	+0.6	+0.7

3次元データ活用

平地	丘陵地	低山地	高山地
+1.0			
+0.4			
+0.3	+0.5		
+0.2	+0.2		
-0.1	0.0	+0.1	
0.0	+0.1	+0.1	+0.2
+0.1	+0.2	+0.2	+0.4

データの活用により
 地域補正率を低減

マニュアルを策定（令和6年3月～）

- ・取得済み3次元計測データを用いた路線測量・現地測量等マニュアル（案）
- ・【付録】取得済み3次元計測データを用いた測量業務等の活用

点群データの活用による発注コストの削減額

項目	R4	R5	R6
業務件数	154件	183件	155件
コスト削減費	45,674千円	49,401千円	46,504千円




「土工数量1,000m³以上」の以下の工種を含む全ての発注工事
 ・河川土工、海岸土工、砂防土工、道路土工、作業土工（床掘）
 ・港湾土工（補助・交付金事業）は除く

3次元データ納品	
協議書提出	3次元データ納品を行うことについて協議
3次元計測	地上型レーザスキャナーやモバイル端末を用いて完成形状を計測
精度確認	検証点と3次元計測結果の差異が所定の精度以内であることを確認
報告書提出	機器構成と精度確認結果を完成形状の3次元計測報告書にて報告
計測データのオンライン登録	https://mycityconstruction.jp/ にLAS形式ファイルを登録



モバイル端末における計測手法について解説したガイドブックを作成し、HP上で公開

 **佐藤 隆洋**
19時間前 · 公開
静岡の点群データDBのデータをもとに、先日公開されたUnrealEngine5で心地よい河川空間のイメージを創作中！！
「生活空間と川の接点」にこんな空間があればいいなを表現していきます。
#ShizuokaPointCloudDB #UnrealEngine5 #多自然川づくり



ゲームエンジンで3次元点群データを活用して河川等の親水域・ビオトープ等の概略設計・イメージパースを作成



出典：日本工営株式会社 佐藤氏（本人承諾済）

令和2年度の国土調査法等の改正により、地籍調査において、空中写真や航空レーザ測量から得られる、高精度なデータを活用した地籍測量の手法を導入

本県では、伊豆市の湯ヶ島、天城峠において、3次元点群データを活用して航測法による地籍調査を実施

令和2年度
国土調査法改正

山村部での地籍調査の課題等


- ・土地所有者等の高齢化が進み、急峻かつ広大な土地が多い山村部では、**現地立会や測量作業が大きな負担**であるほか、**事故のリスクも高い**
- ・近年の測量技術の進展により、空中写真測量や航空レーザ測量から得られる**高精度なリモートセンシングデータ**が活用できる環境が整いつつある

リモセンデータ活用による新手法（航測法）の導入

① 現地立会の負担軽減


微細な地形や植生等をリモセンデータで把握した上で筆界案を作成し、集会所等に集まった土地所有者等に境界確認をしてもらい同意を得る
→**現地立会に必要な期間や人員等を大幅に削減**

現状



土地所有者等が現地立会
土地の境界位置を確認

→



集会所等集まり、リモセン
データから土地境界位置を確認

② 測量作業の効率化

空中写真等から解析したリモセンデータを用いて机上により筆界点の位置座標等を測量
→**現地での測量作業によるコストを大幅に削減**
→**従来よりも広範囲の測量が可能に**

現状



現地に測量機器を設置し、
土地の境界点の座標値を測量

→



主要な基準点のみ現地測量し、
上空からの写真や画像上から
土地の境界点の座標値を算出

令和2年度 伊豆市地籍調査事業 業務委託 天城峠



① 航空写真画像を背景とした筆界案



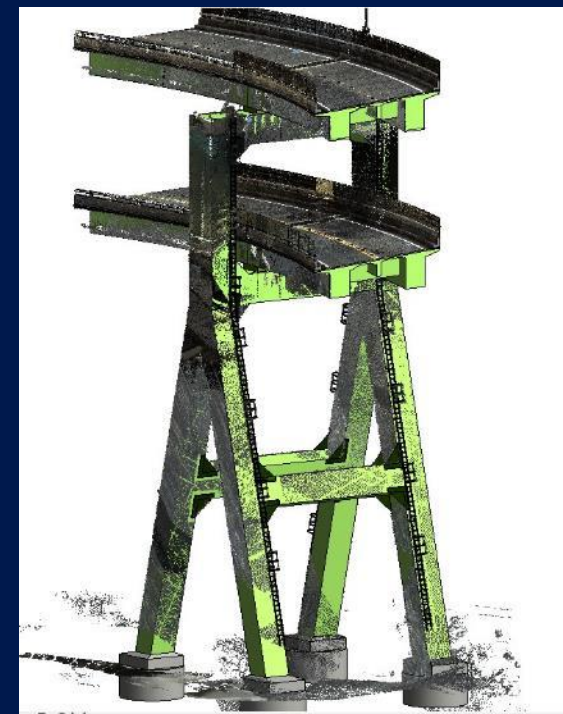
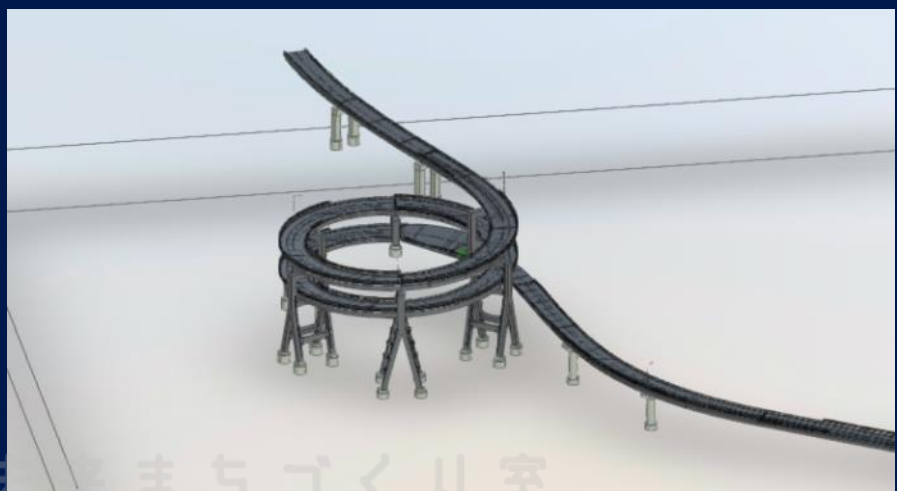
② 微地形表現図(グラウンドデータ)を背景とした筆界案

河津ループ橋



3次元点群データから3D設計図を作成
(Scan to BIM・CIM)

橋梁のみ抽出

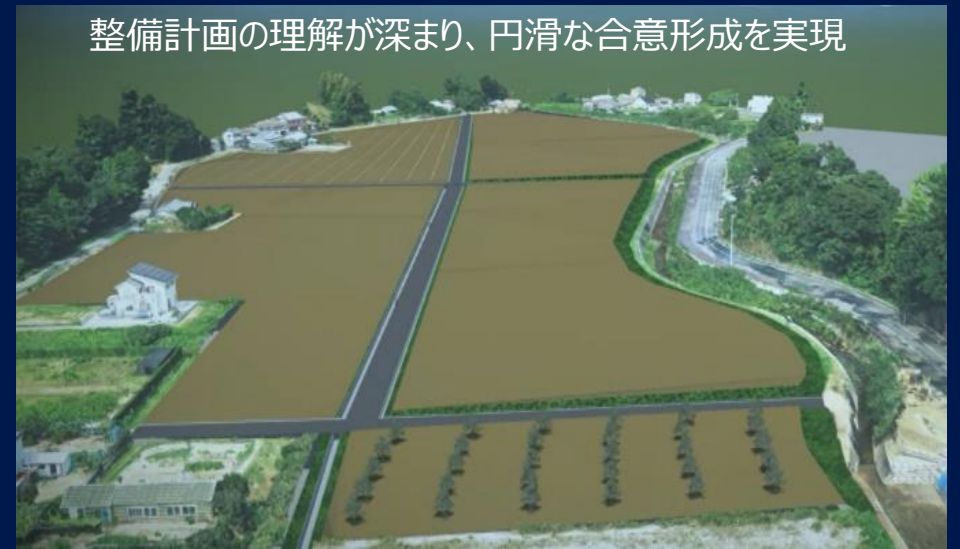


出典：スキャン・エクス株式会社

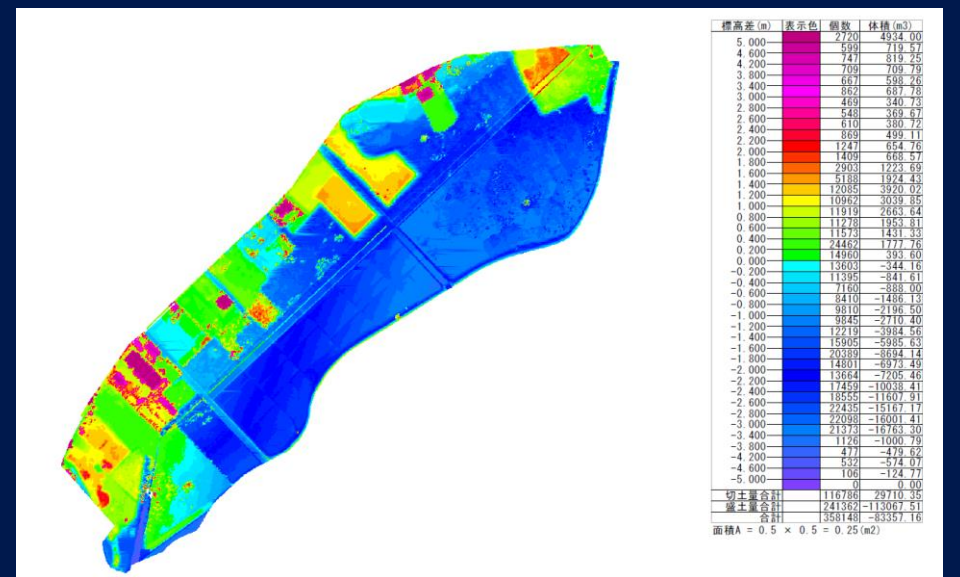
建設発生土を活用した農業基盤整備の事業化に向けて、計画案を3次元化。地元合意形成を加速



現況：小区画不整形な水田



整備計画の理解が深まり、円滑な合意形成を実現



＜地元農業者の声＞
 平面図等の説明ではイメージ化が困難であったが、3Dを見て整備後の農地のイメージができた
 ＜その他効果＞
 建設発生土受入可能量を把握し、関係機関との協議が円滑に進む

受け入れ可能な建設発生土量を正確に把握

点群データを活用して、建築物の新設や抜柱、伐木による景観シミュレーションを実施

開発施設の影響調査



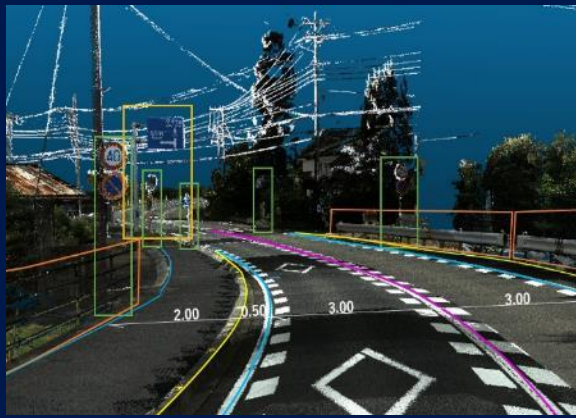
除草、伐木効果



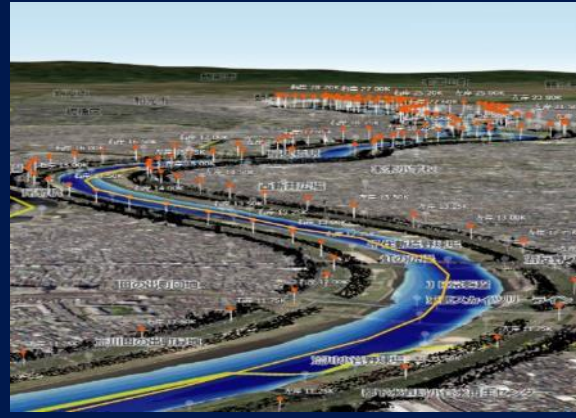
無電柱効果



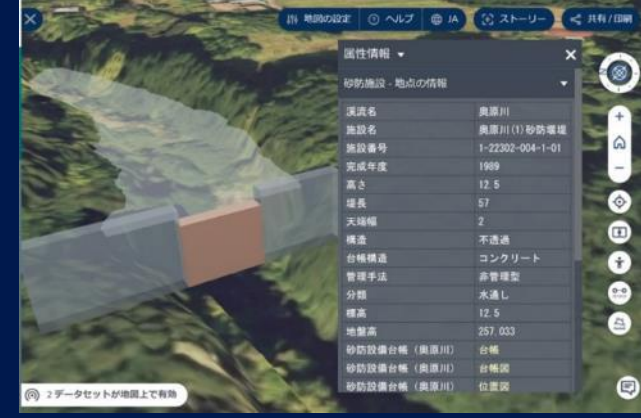
さらに「次世代のインフラ情報プラットフォーム」として、各インフラ台帳データの集約化及び3次元での可視化表示を検討。



道路台帳データ



河川・海岸台帳データ

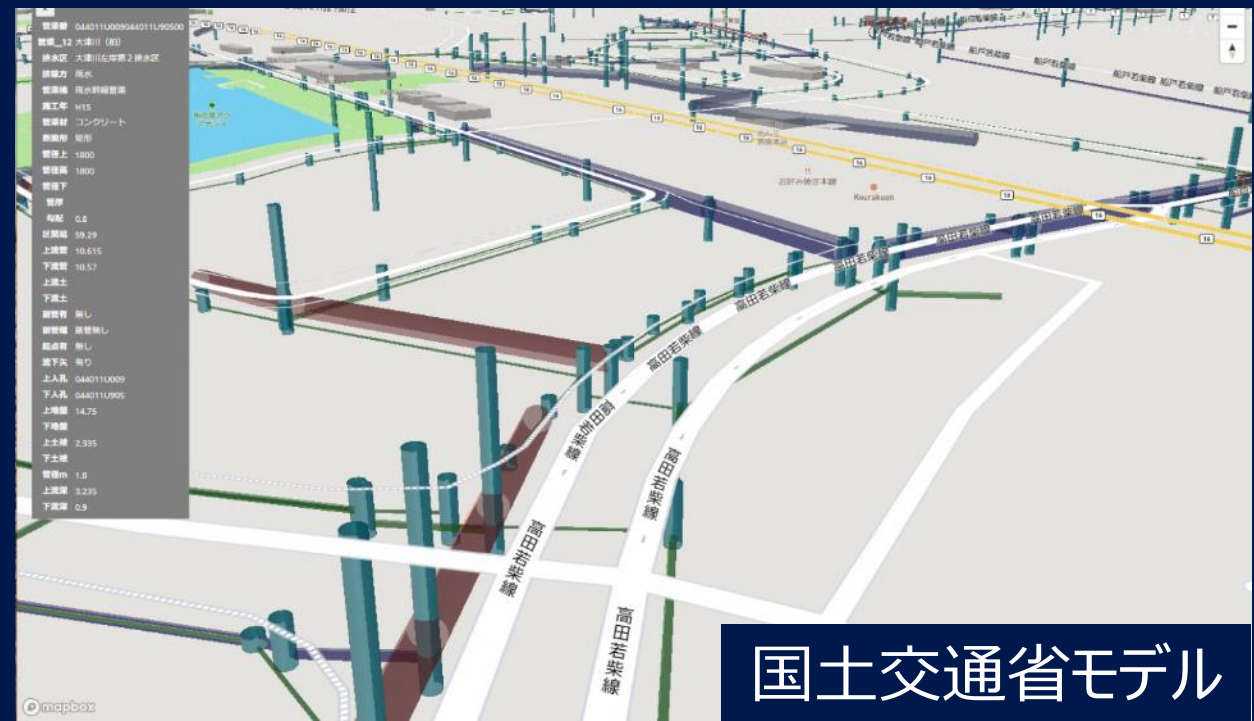


砂防関連台帳データ

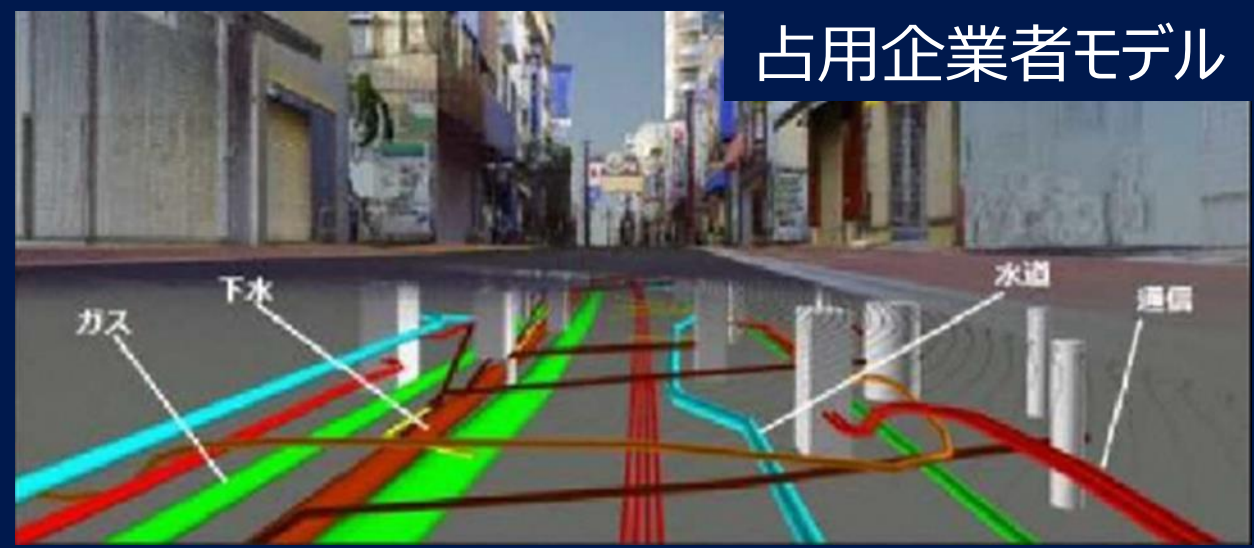


港湾・漁港台帳データ

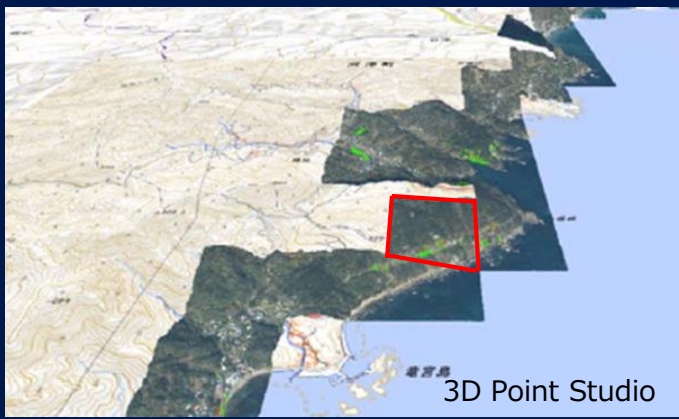
3次元点群データを取得可能な最新のスキャナ機能アプリを使用し、管路布設工事等における埋戻し前の露出管の3次元データを取得。取得データを3次元仮想空間に展開し、管路台帳の3Dモデル化を図る。(R4 試行)



国土交通省モデル
占用企業者モデル



② 道路土工構造物の位置の自動抽出



3次元点群データ計測



抽出前



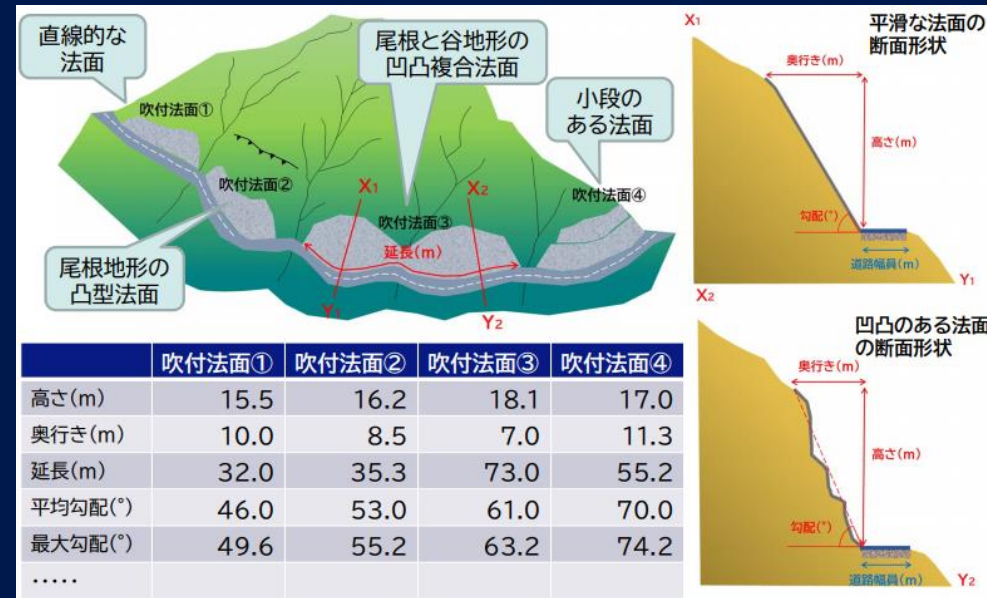
抽出後

法面の点群データを自動抽出

③ 維持管理のための点検作業の効率化



従来作業からの作業工数の短縮



平時における点検・測量作業を自動化・支援

(株式会社パスコ：令和4年度[第34-I1849-01号]
 (国) 135号外特定道路土工構造物箇所調査業務委託にて活用)

- 【共同研究体制】
- ・静岡県
 - ・大阪経済大学
 - ・法政大学
 - ・摂南大学
 - ・大阪電気通信大学
 - ・株式会社日本インシーク
 - ・日本工営株式会社

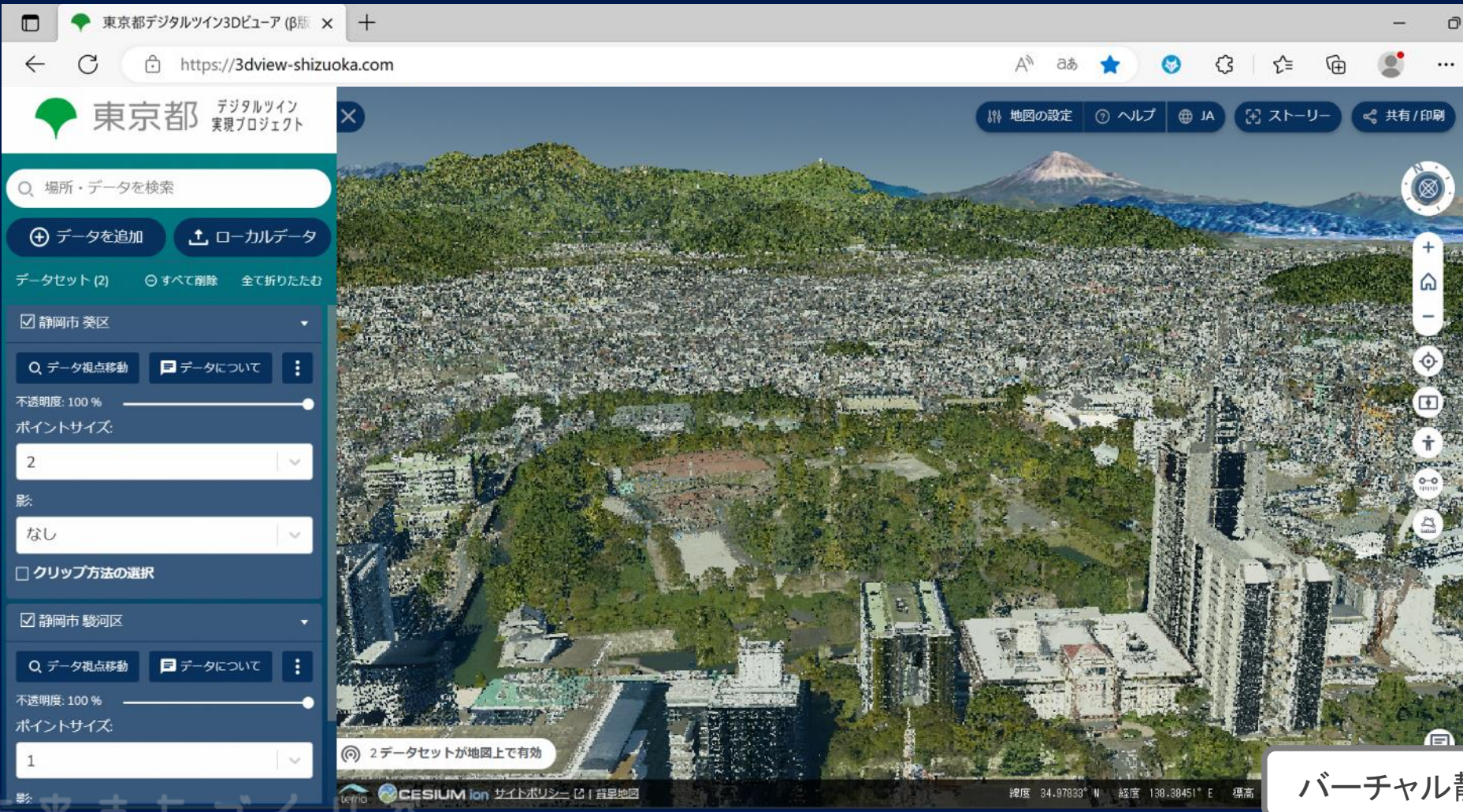
～インフラを美しく見せる～ 職員がゲームエンジンで作成した一例



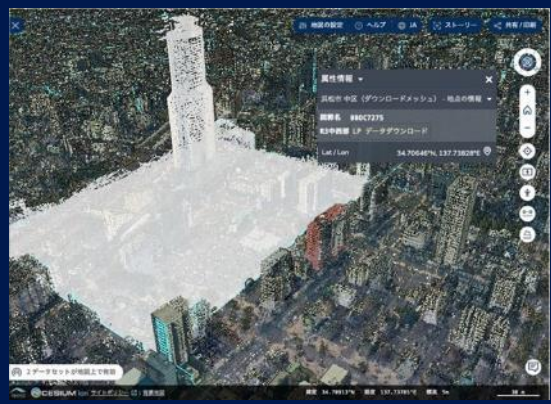
東京都 デジタルツイン 実現プロジェクト
「東京都デジタルツイン実現プロジェクト」



静岡県
「静岡県次世代インフラプラットフォーム」



データのダウンロードも可能



エリアを指定し、3次元点群データのダウンロードが可能

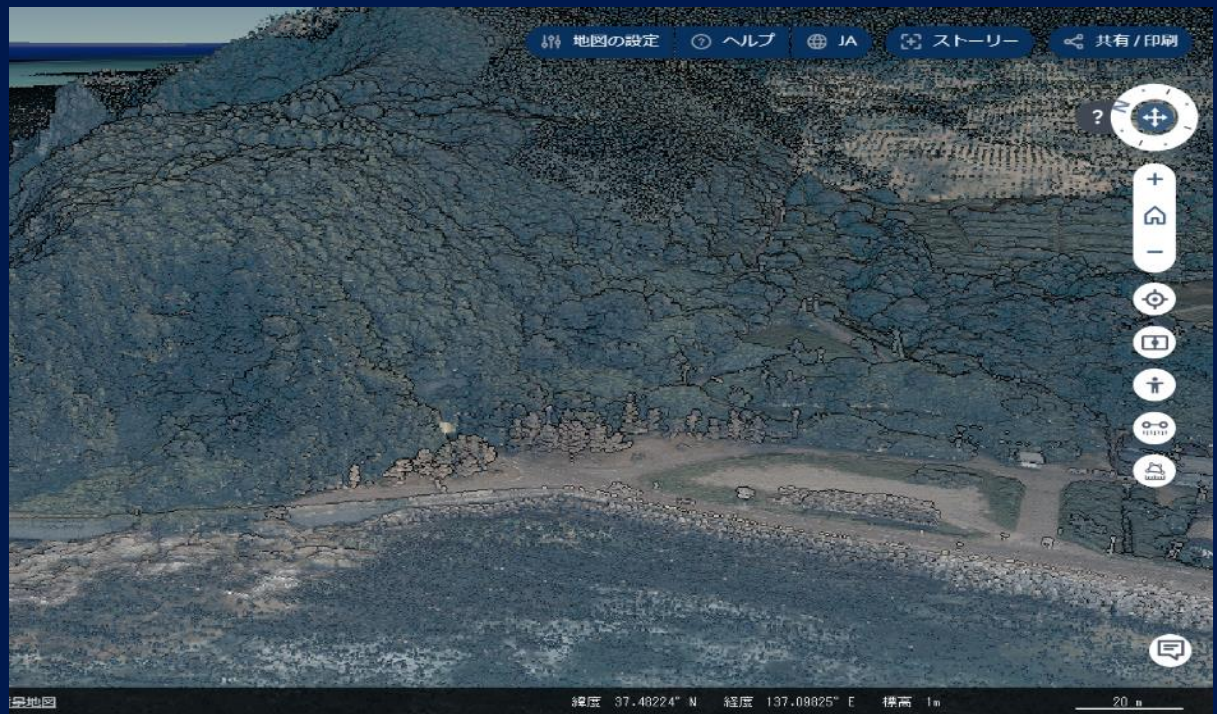


バーチャル静岡

検索

～自宅の端末で静岡デジタルツインの閲覧が可能～

能登半島の3次元点群データをプラットフォームに搭載（令和6年2月～）



令和2～4年度森林情報整備業務（石川県）

- ＜発災前のデータ＞
- ・ 3次元点群データ
 - ・ 微地形表現図

被災後の国土地理院データ

- ＜発災後のデータ＞
- ・ 斜面崩壊・堆積分布データ
 - ・ 航空写真

石川県の点群データをオープン化して、プラットフォームに搭載。被災前後の状況把握が可能となった。

Future City Planning Office Team

復旧・復興支援のため「VIRTUAL SHIZUOKA」を学ぶ



ウクライナ国の復旧・復興に向けて、3Dデータの整備・更新など「VIRTUAL SHIZUOKA」を学ぶため、同国の地理空間情報分野の研修団が来静しました。

3D都市モデルの技術を習得することで、特に防災や都市計画の分野で役立つスキルが身につくほか、行政や民間企業との連携が強化され、地域課題の解決に貢献すると考えています。

本講義は、政府の技術協力計画に基づき、開発途上国の経済・社会開発に必要な人材を育成するため、JICA（独立行政法人国際協力機構）が主催する研修の一環として行いました。

令和8年度	
5月22日	陸上自衛隊 (地理情報隊)
6月8日	ウクライナ国
7月14日	宮崎市議会
7月22日	茨城県議会
8月5日	栃木県議会
9月1日	FOSS4G HIROSHIMA

令和6年度	
4月17日	熊本県庁
5月14日	土木施工管理技士会
5月29日	長崎県庁
6月3日	長野県庁
7月11日	北九州市議会
7月23日	山形県庁
11月21日	JACIC
12月18日	山口大学
2月26日	ネパール国

令和4年度	
4月21日	日本機械施工協会中国 支部セミナー
4月22日	全測連中国地区協議会 セミナー
6月10日	Code for 横浜
7月4日	福井県測量設計業協会
7月21日	Tec Beat静岡
8月24日	中国総合通信局セミナー
8月30日	新建新聞セミナー
9月4、5日	IBM次世代有識者会議
12月14日	シンメトリー渋谷区デジタ ルツイン勉強会

令和7年度	
4月7日	東京都庁
6月9日	鳥取県庁・鳥取県市区量 設計業協会
11月1日	栃木県宇都宮市役所
12月19日	陸上自衛隊 (地理情報隊)
1月29日	群馬県庁
2月6日	広島県庁

令和5年度	
12月15日	3次元計測フォーラム
1月30日	岩手県庁
1月31日	鹿児島県産学官連携セ ミナー
2月13日	政策研究大学院大学



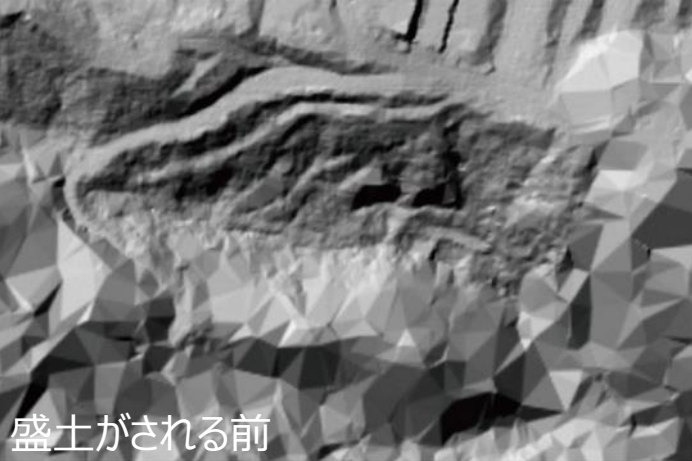
ウクライナ国研修受入

その他活用

解析・調査 ⑰ 開発・盛土等における土量計算と地形変更の変遷

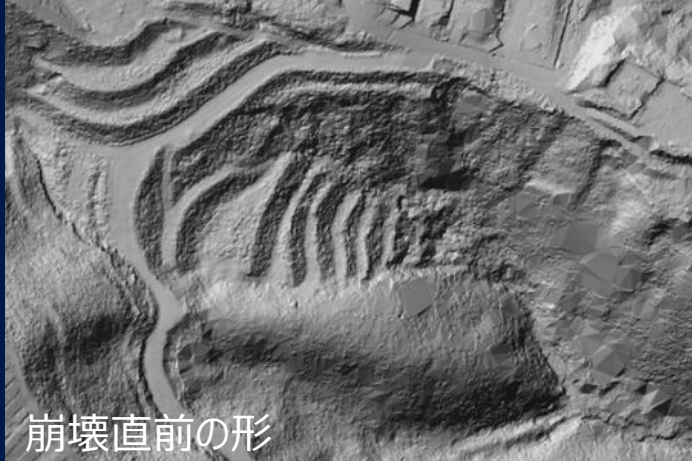
3次元計測データを活用して盛土の量等の民間開発の経年変化を計測 伊豆山土石流災害（2021年7月3日）

2009年国土交通省データ



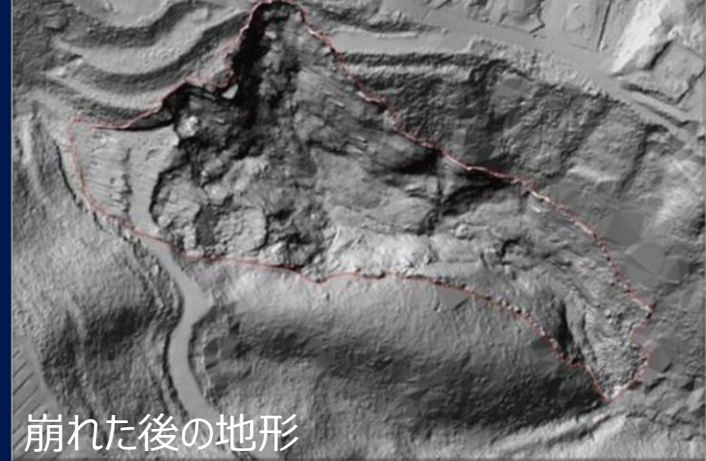
盛土がされる前

2019年VIRTUAL SHIZUOKA



崩壊直前の形

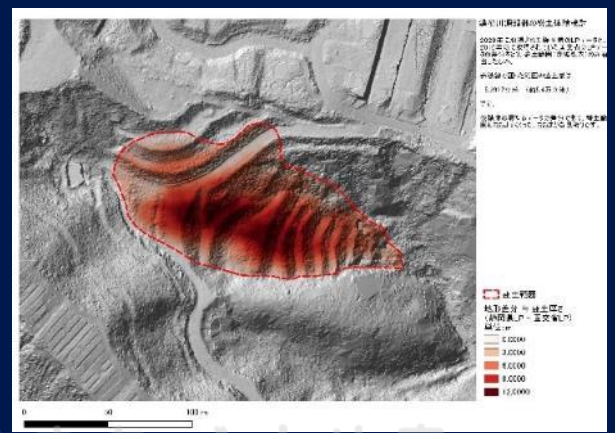
2021年7月レーザデータ



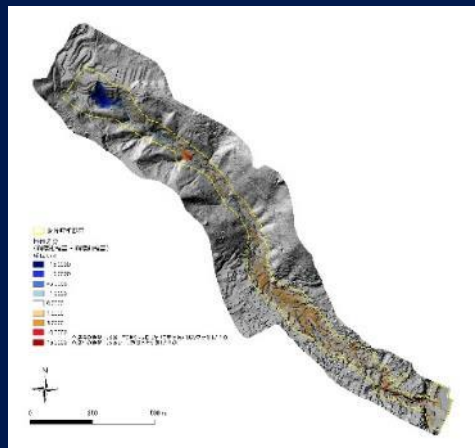
崩れた後の地形

2019年 - 2009年

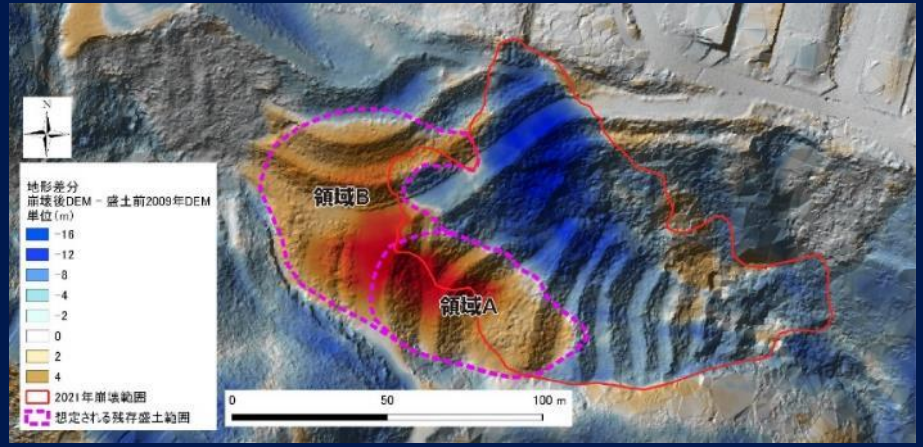
2021年 - 2019年



盛土量の算出

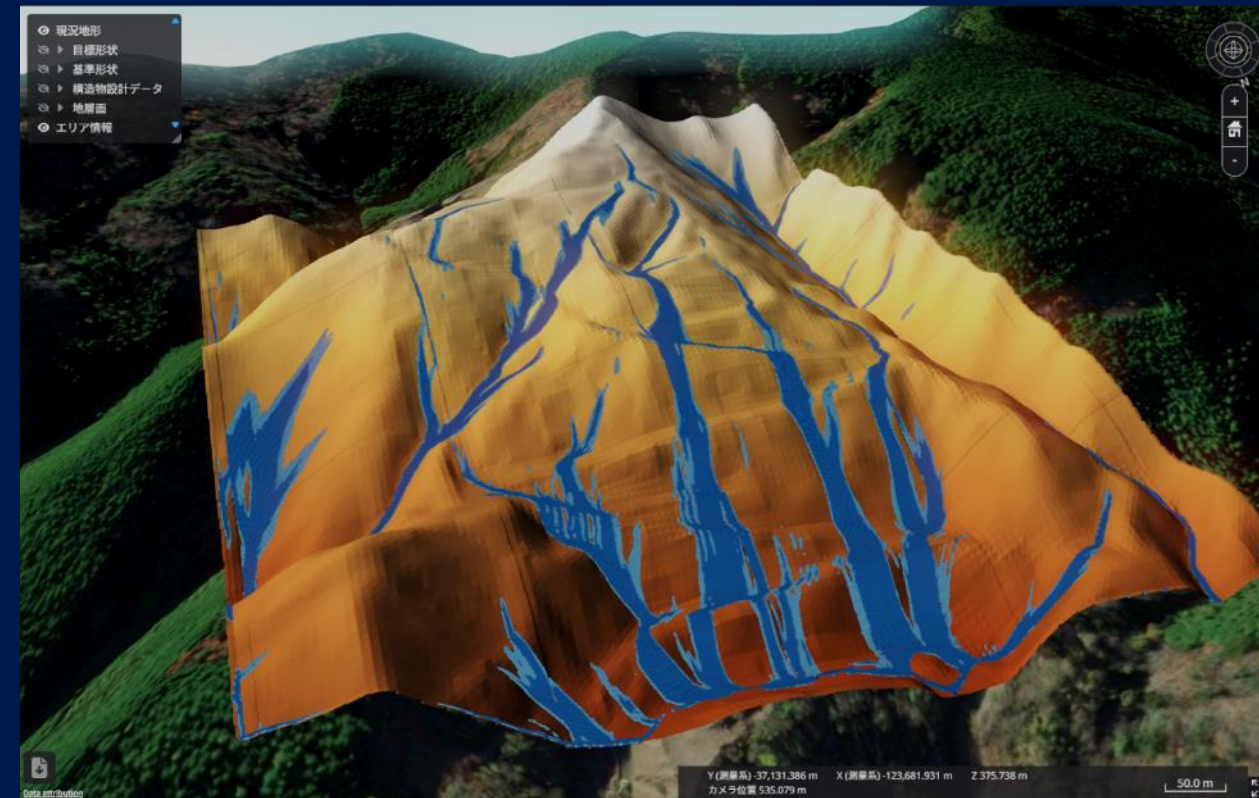


崩壊後の土砂移動量の算出



2021年 - 2009年 残存盛土量の算出

5 mメッシュ地形での解析 (国土地理院データ)



0.5mメッシュ地形での解析 (VIRTUAL SHIZUOKA)



画像提供：(株) EARTHBRAIN

詳細度の高い地形データを使用することで、流水や浸水のシミュレーションの精度が向上

解析・調査 ⑱ 森林保有認証 (J-credit) 森林モニタリング

カーボンオフセット



CO₂を排出する企業がCO₂を吸収する森林を購入する制度



森林位置特定のモニタリングが
 実踏調査から航空機等のレーザー調査も可能 (2021年8月改定)

測定方法	<従来> 実踏調査	<改定により追加> 航空レーザー・写真
測定対象地	モニタリングプロット	モニタリングプロット または モニタリングエリアグループ
樹種	○ (目視)	○ (写真目視・レーザー反射強度)
林齢	△ (樹種が森林経営計画と異なる場合は実踏調査により特定)	
立木数	○ (目視)	× (樹高を測定する木の特定が不要であるため)
胸高直径	○ (巻尺、輪尺、レーザー測定器)	× (樹高を測定する木の特定が不要であるため)
特定木の樹高	○ (携帯測高器)	-
平均上層樹高	-	○ (レーザー)

日本製紙：桑崎社有林 (富士市) J - Credit認証を取得



<算定過程>

1. 点群データから単木樹高を解析
2. 平均樹高を算出
3. エリアの地位、年間成長量を特定
4. CO₂吸収量を算定

使用データ：VIRTUAL SHIZUOKA
 解析協力：朝日航洋(株)
 出展：日本製紙(株)

航空機レーザーを用いたCredit認証／国内初【2022.9月】

<算定結果、認証吸収量>
 クレジット発行可能期間：
 2021-2028年度
 今回認証量：850 t-CO₂ (2021年度分)
 認証可能量合計：6,800 t-CO₂ (8年間計)

解析・調査 ⑳ 太陽光発電ポテンシャル推計

国際航業：ペロブスカイト太陽電池を想定した太陽光発電ポテンシャル推計

ペロブスカイト太陽電池

- ・従来の太陽光発電よりも「軽い」「薄い」「安い」
- ・建物、構造物に「貼る」ことができるため、平地の少ない日本におけるソリューションとして期待

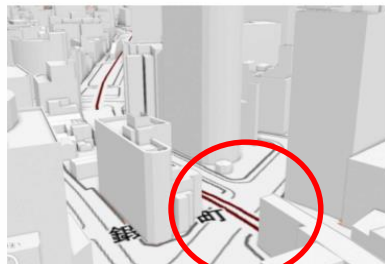


提供：東芝エネルギーシステムズ(株)



提供：積水化学工業(株)

推計用デジタルツイン



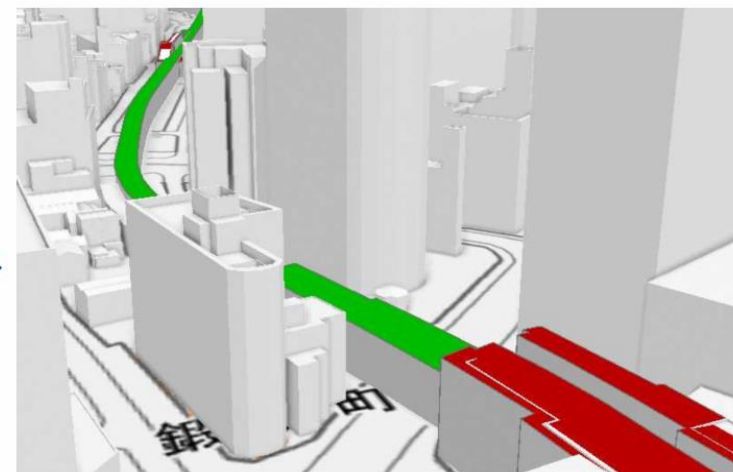
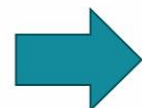
PLATEAU



地理院地図 (写真地図)



VIRTUAL SHIZUOKA (点群データ)



デジタルツイン

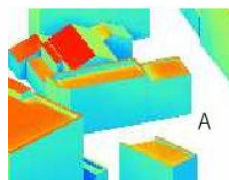
(より現状に近い)

3D都市モデルにない高架橋をVIRTUAL SHIZUOKAで補完

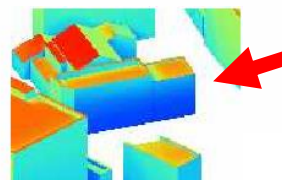
遠州鉄道線の高架橋の西側に位置する建物



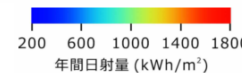
	橋梁データ：未利用		橋梁データ：利用		利用による減少分	
	パネル	年間発電量	パネル	年間発電量	年間発電量	減少率
建物A	103	11,367	26	2,872	8,494	74.7%
(年間発電量：kWh)						



橋梁データ：未利用



橋梁データ：利用



日射量が減少する壁面を判別でき、推計の精度が向上

提供：国際航業(株)

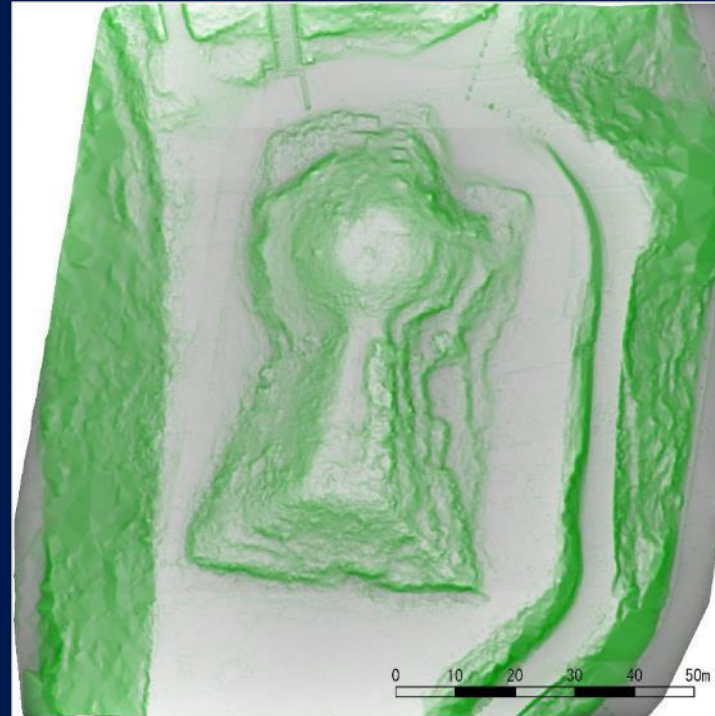


この程度の隙間は地表データが取得可能



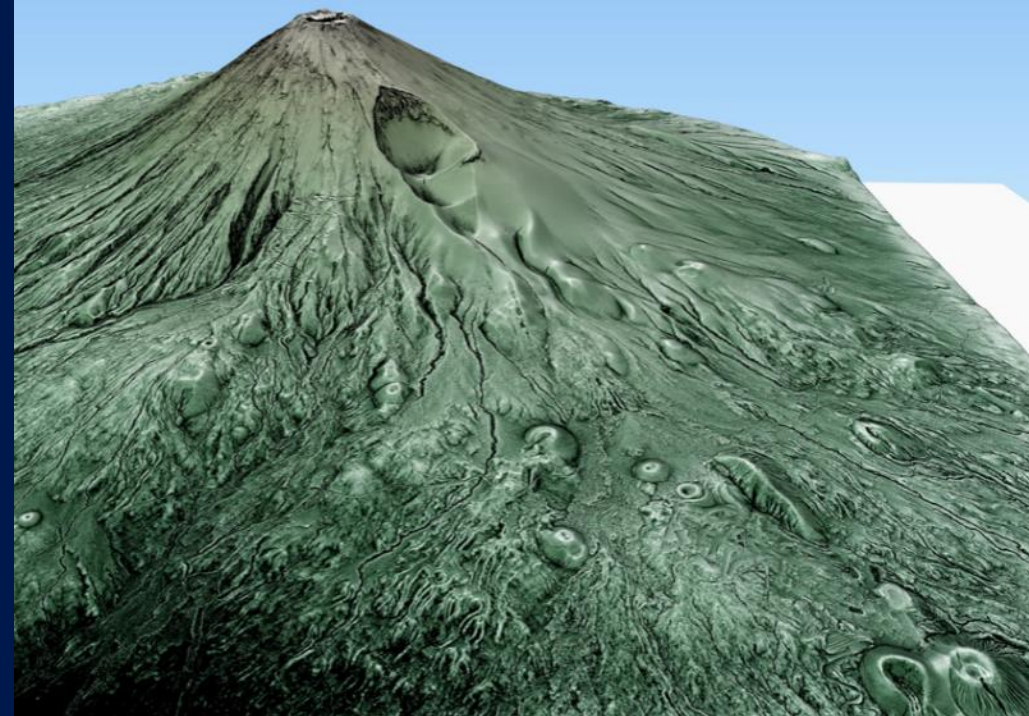
地表面データ

光明山遺跡（浜松市天竜区）



写真提供：（株）フジヤマ

富士山噴火口（裾野市）



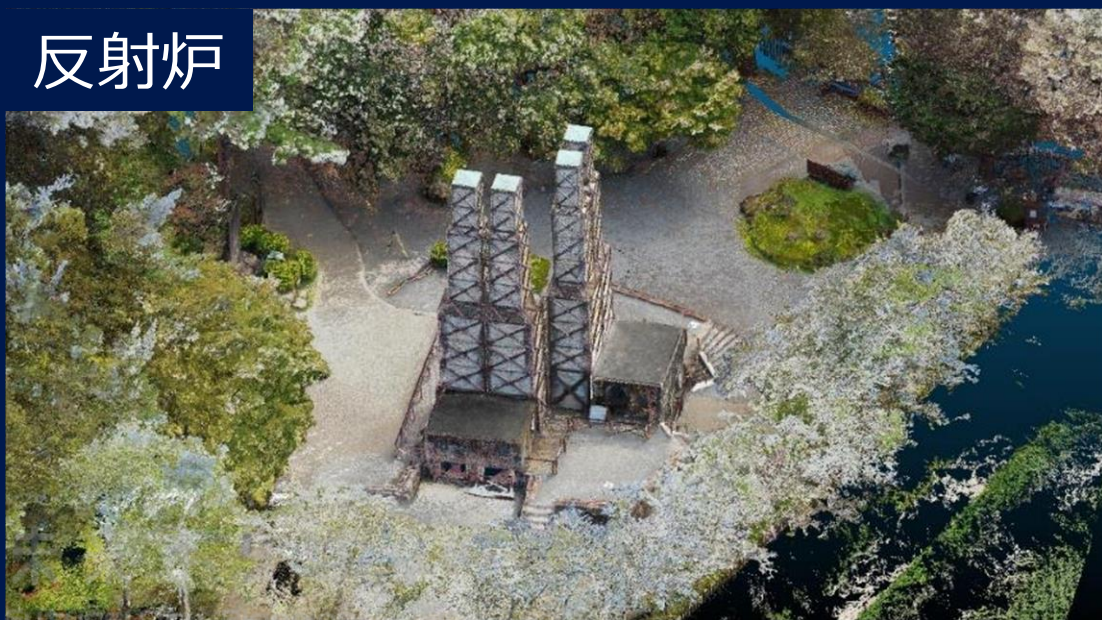
まだ知られていない噴火口跡地を発見

森林等を透過して地表面データを表示することで、航空写真や踏査ではわからない地物データを把握

掛川城



反射炉



ノートルダム寺院



2019年に焼却したノートルダム寺院は過去に取得していた3次元点群データ(500億点)を活用しBIMを作成。早期復興が可能となった



アミューズメント機による3次元点群データを用いた林業機械シミュレータ



静岡県 × AERO TOYOTA × アーケードゲーム



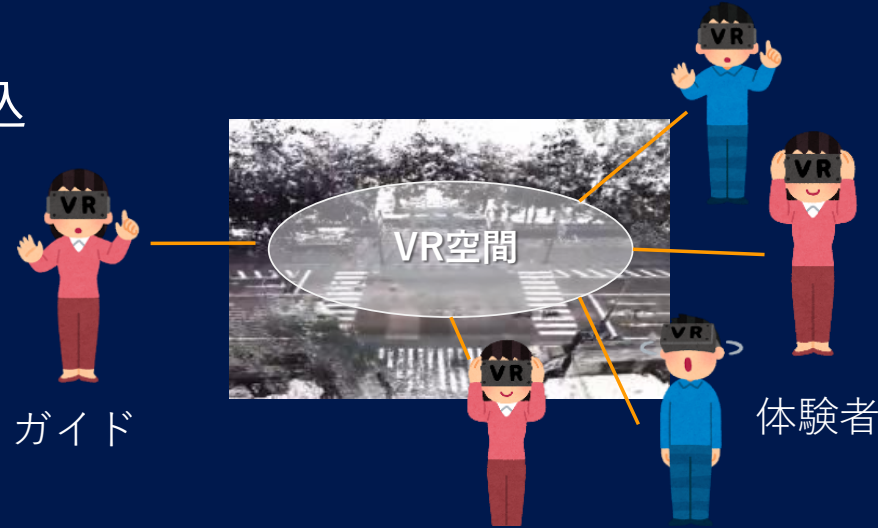
画像提供…エアロトヨタ(株)

シミュレータとしての機能と林業体験ゲームを両立
VIRTUAL SHIZUOKAをフィールドとし、リアリティある操作を実現

体験者とガイドが同一の V R 空間に入り込み、自由な視点で体感するツアーを実施

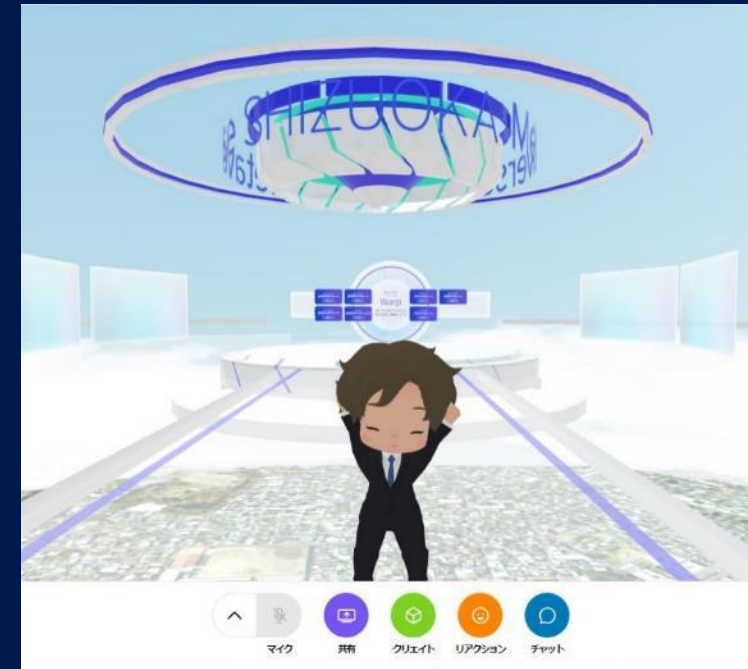


伊豆ジオサイトツアー



富士登山VRツアー (5合目から山頂まで登山)





令和6年
1月25日～OPEN

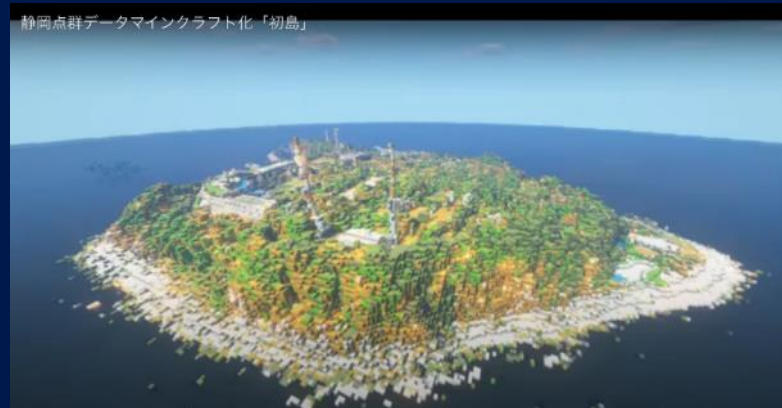


静岡県を丸ごとスキャンした3次元点群データ(VIRTUAL SHIZUOKA)を活用し、静岡県を8つのエリアに分けたメタバース空間「Metaverse SHIZUOKA」を静岡県広聴広報課が構築。
 「Metaverse SHIZUOKA」は、広聴活動(意見交換会・タウンミーティング)や、広報活動(観光や移住促進等の情報発信)などに活用予定。メタバース内では3DCGで作った富士山頂・伊豆の大自然といった特別な絶景スポットを訪れることができ、同じ空間内の参加者と交流することが可能。

②③デジタルツインゲームフィールド



②④マインクラフト



②⑤アプリ「釣りどこ」での海岸線地図



熱海からフェリーで30分のリゾートアイランド、初島の海底地形を公開しました！
 今回は静岡県からオープンデータとして公開されている三次元の点群データを活用させて頂いております！
 官民が連携した初めての海底地形の公開事例ですので、ぜひご覧ください！
 みなさんも、魚影の濃い初島で釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか？
 初島の海底地形はコチラから！ > <https://turidoco.com/areas/2029>

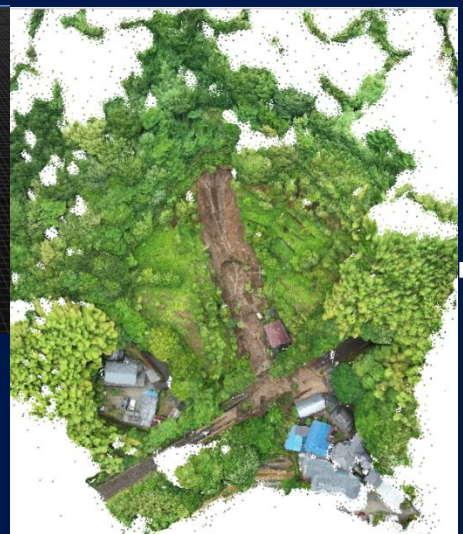


出典：アジア航測株式会社

解析・調査 災害規模の把握

台風6号による河津町土砂崩れ (2026年6月3日)

ドローンで撮影した動画から
生成した3次元モデル及び点群データ



災害後の地形把握

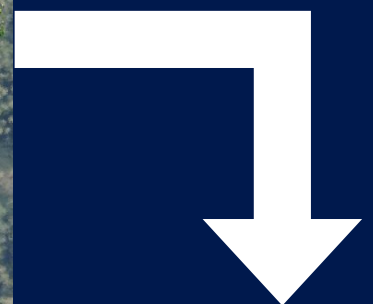
VIRTUAL
SHIZUOKA



崩壊前の形



特徴点で重ねることで、
オーバーラップ完了
(スケールも修正)



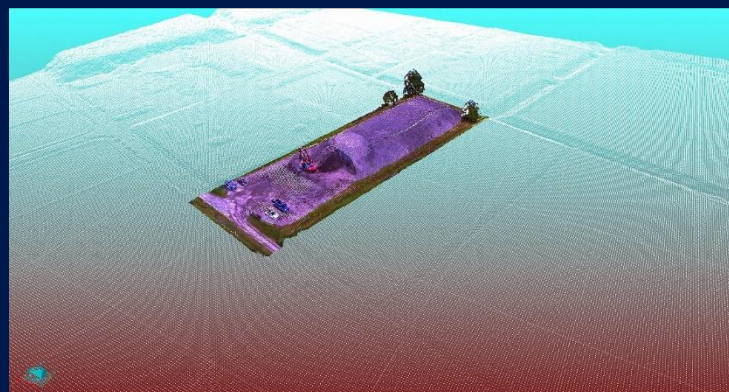
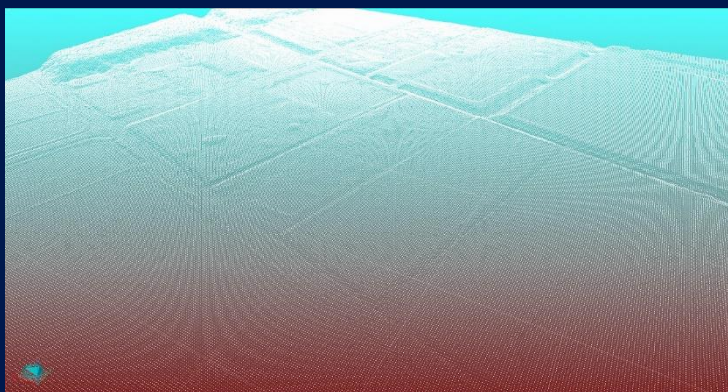
初動時の災害規模把握に活用

(概算による崩壊長、崩壊幅の把握が可能)



解析・調査 違法盛土の土量算出

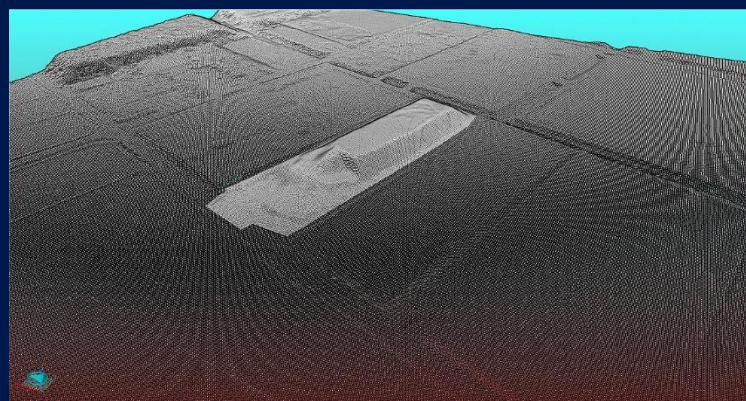
VIRTUAL SHIZUOKAと取得した点群データによる盛土算出



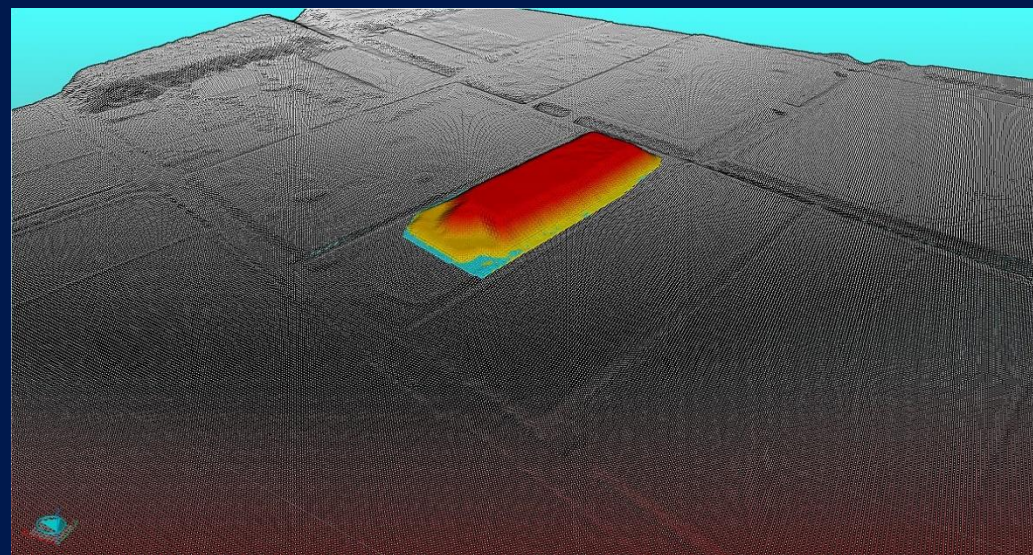
VIRTUAL SHIZUOKAのグリッドデータを「元の地形」の基準として活用することで、現地測量データとの差分から正確な盛土量を算出することが可能になりました。

VIRTUAL SHIZUOKA のグリッドデータ
(ランドデータを0.5mのグリッド単位の整理した数値標高モデル)

現地で取得した点群データ



盛土地形の抽出



盛土量の算出

FRD (Forest Road Designer) による林業専用道や森林作業道のルートシミュレーション VIRTUAL SHIZUOKA × FRD



航空レーザ測量成果を基に、地上画素寸法
50cmの解像度で作成した「CS立体図」



現地調査前の机上シミュレーション
が可能になり、現地踏査する日数を
大幅に削減

FRDとは・・・

地形データを基に、始点と終点を設定するだけで、林業専用道等の線形案を自動で設計・評価が可能な林業用の路網設計支援ソフトウェアです。

【主な機能】

- ・過去に崩壊した場所などを「回避エリア」として設定し、災害リスクを回避する線形案の作成
- ・設計した道の周囲の森林データと連動し、開設することで搬出できる木材量を表示

点群データの利活用について

「こんな使い方はできないのか？」と思ったら、未来まちづくり室までご相談ください！

TEL : 054-221-2497 mail : mirai@pref.shizuoka.lg.jp

発注資料として

- ・延長
- ・面積
- ・体積
- ・断面図
- ・道路勾配の確認

地元説明会に

- ・VR、ARで
- ・フライスルー映像の作成
- ・ゲームエンジンで



景観検討に

- ・富士山の景観
- ・無電柱化検討
- ・木の移設

色々な検討や確認に

- ・残土置き場の検討
- ・発注箇所を検討
- ・架空線の高さ検討
- ・現場の数量諸元の確認
- ・設計書検算のための現場確認に